

呼吸器内科

担当医師



藤本雄一

禁煙外来

木曜日 PM 2:00 ~ 3:00

喫煙について



慢性閉塞性肺疾患、肺癌患者の CT 画像

喫煙は、慢性閉塞性肺疾患、肺癌だけではなく、虚血性心疾患、脳卒中など様々な病気の危険因子です。禁煙することにより、これらの健康被害を予防することができます。喫煙は、ニコチン依存症という薬物依存症です。従来は失敗率が高かったものの、現在は禁煙補助薬により成功率が高くなっています。

禁煙補助薬には、貼付薬であるニコチンパッチ（ニコチネル TTS[®]）と内服薬であるバレニクリン（チャンピックス[®]）の2種類があります。どちらの薬剤も禁煙に伴うニコチン離脱症状を緩和できます。
あなた自身や家族のために禁煙して健康を取り戻しましょう。

禁煙補助薬とは

ニコチンパッチ (ニコチネル TTS [®])	バレニクリン (チャンピックス [®])
・ニコチンを含む貼り薬	・ニコチンを含まない飲み薬
・禁煙成功率は約2倍	・禁煙成功率は約3倍
・不整脈などの副作用あり	・喫煙による満足感も抑制
・汗をかく、かぶれやすい人には使いにくく	・循環器疾患のある患者にも使用しやすい

